

## 1 社会・治安情勢

- (1) 多くの観光客が訪れるリオ市ゾナスル地区においても、スマートフォンを狙った強盗事件や窃盗事件（ひったくり・置き引き）が引き続き多く発生しており、日常生活において十分な警戒が必要です。
- (2) 2月13日から同月21日までの間、「リオのカーニバル」がメイン会場のサンボドロモで開催されました。また、街中の至るところで、ブロッコも行われました。リオ州によると、期間中に731人が逮捕され、86人の未成年が補導されましたが、昨年のカーニバル期間中と比べると、スマートフォンなどを狙った路上での強盗・窃盗事件は約32%減少、観光客が被害者となる事件は約43%減少しました。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2026年1～3月期のリオ州内における殺人事件発生件数は716件で、前期比で約0.7%減少しましたが、引き続き高い水準で事件が発生しています。
- (2) 同期間中のリオ州内における強盗事件発生件数は24,778件（前期比約+2.2%）です。手口別では、特に屋外での強盗（車両強盗、通行人強盗、交通機関内強盗、携帯電話強盗）が多く発生しています。

また、2025年中のリオ州における強盗事件発生件数は97,712件で、前年と比べて9,207件（約8.6%）減少したものの、携帯電話を狙った強盗事件については、前年比で約19.7%増加するなど、引き続き日常生活において十分な警戒が必要です。
- (3) 同期間中のリオ州内における窃盗事件発生件数は43,823件で、前期と比べて約3.7%減少していますが、2025年中のリオ州における窃盗事件発生件数は187,979件で、前年比約4.7%増加しており、過去10年間で最も多い発生件数となっています。窃盗事件には十分な注意が必要です。

### 3 リオ州犯罪発生状況（2025年度）

	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)
殺人	687	699	721	716
不同意性交等	1,406	1,517	1,481	1,635
商業施設強盗	449	510	523	555
住居侵入強盗	151	166	163	168
車両強盗	5,163	5,403	8,100	7,764
通行人強盗	7,089	6,328	5,758	6,778
交通機関内強盗	912	854	613	592
携帯電話強盗	6,580	6,562	5,941	5,540
強盗総数	23,566	23,026	24,253	24,778
窃盗総数	45,645	47,384	45,507	43,823
取扱件数	233,444	246,089	239,678	253,505
※警察介入の際の致死事件	172	141	278	192

### 4 一般事件等（邦人の安全に関わりうる事件を抜粋）

#### （1）強盗事件（コパカバーナ地区）

1月20日（火）未明、チリ人観光客2名がコパカバーナ地区を歩いていたところ、2人組の犯人に脅され所持品を強奪されるという強盗事件が発生しました。

#### （2）詐欺事件（コパカバーナ地区）

1月25日（日）、アルゼンチン人観光客がコパカバーナ地区の屋台で20レアルの商品（軽食）を購入し、pix（即時送金システム）で支払ったところ、犯人に騙され20,000レアルが送金されていました。

#### （3）強盗事件（ラパ地区）

2月13日（金）、邦人観光客がラパ地区の水道橋付近において、現地の男性に手招きされたことから近づいたところ、近くの建物に連れ込まれ、所持品のほか、身につけていたシャツや靴を強奪されました。

### 5 テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知されていません。

### 6 誘拐・恐喝事件発生状況

日本人の被害は認知されていません。